



—東北生産性本部—

第40回仙台シンポジウム8月例会開催

テーマ

「安倍政権の行方と今後の国政」



■ 8月例会（平成29年8月4日開催）

講師 政治アナリスト 伊藤 惇夫 氏

プロフィール

1948年生まれ、学習院大学法学部卒。

1973年から自民党本部勤務、主に広報を担当。

1995年に自民党を退職し以後、新進党事務局で総務局企画室長、太陽党・民政党・民主党の事務局長を歴任、2001年に民主党を退職。

著書には、「政党崩壊-永田町の失われた10年」「永田町『悪魔の辞典』」など多数。

第40回仙台シンポジウム8月例会は、政治アナリストの伊藤惇夫氏を迎え、約50名の参加を得て開催いたしました。

講演では、『マスコミの役割と私のスタンス・・・時の政権与党に厳しい物言いをするのは、私たちの役割だと思っている。なぜならば政権与党とはイコール権力だからである。権力は常に誰かがチェックし、ブレーキを掛けないと暴走するのである。現在の自民党一強他弱の状況で非力な野党にチェック機能を求めても難しい。となれば、代わってチェック機能を働かせる役割を担うのはマスコミであると思っている。』

私もそこに身をおいているので、政権与党が権力を行使しようとする時に、私なりに問題点・疑問点を感じれば、それはきちっと指摘させていただく。これが基本的な私のスタンスである。

東京都議会選挙の結果・・・都議選で安倍政権は決定的なダメージを受けた。第1会派が第3会派に落ちてしまった。なぜ自民党が惨敗したのか。間違いなく小池人気に乗った都民ファーストが圧勝したからで、これが一番単純な解釈である。しかし、都議選をずっと見ていたが、都知事選の時のような小池都知事に対する圧倒的・熱狂的な支持・応援はほとんど見かけなかった。都民ファーストが圧勝した理由と言うのは

一体何なのか。おそらく都民は、都民ファーストという「受け皿」をやっと見つけたことではないかと思っている。

自民党の敗因・・・安倍政権は、都議選の少し前までは、この4年間ずっと極めて高い支持率を維持してきた。しかし、その支持の内容をみると、支持する理由の一番が「他に無いから」なのだ。つまり「渋々支持」がかなりの割合を占めていた。都議選に限って言うと、おそらく都民は「疑似受け皿」として都民ファーストを認知したと思う。そこに票が流れたと言うのが、この結果を招いた一つの理由と考えている。

都議選の直後にフジテレビがビッグデータを使って、自民党敗北の原因を分析したところ、自民党を支持しない理由として「安倍総理自身がダメだから」という結果が出た。圧倒的に安倍総理に対する不信感が自民党離れの原因になっていた。これが都議選の結果に大きく影響したことは間違いないと思う。

支持率回復に向けて・・・都議選が終わって、内閣の支持率がどんどん急落した。何とかこれを打開しなければならぬとして、8月3日に内閣改造が行われた。今後、改造により世論がどう動くかが注目ポイントになってくる。今回の顔ぶれ、タイミング、改造後の安倍総理の会見等の対応を見ていて、当面これ以上、支持率は下がることは無いが、そんなに回復するとも思えない。

過去には、安法制の後や集団的自衛権の解釈変更をした後は、支持率が落込んで、その後の内閣改造で上昇している。今回もそうではないかとの見方もあるが、これまでと今回は中身が違う。過去は政策問題であった。政策問題は多少強引であっても押し切って、終わってしまえば、仕方がないかとなるのだが、今回の支持率急落の原因は安倍総理自身である。どの世論調査の結果を見ても、不支持の理由のトップは「安倍総理を信用できない」である。内閣の顔触れが変わったとしても、安倍政権には変わらないので、改造のねらいによる支持率上昇効果は限定的である。新内閣がスタートして、すぐにでもまた失言やスキャンダルが発覚すれば致命的である。

解散総選挙・・・解散総選挙を何時するかである。年内解散、10月の青森・愛媛の補欠選挙に合わせるとの噂も流れているが、不透明であるのには変わらない。これから内閣支持率がどう変化していくかも影響してくる。V字回復すれば当面解散はしないが、横這いとか下落が続けば、年内も有り得るかもしれない。

アベノミクスの行方・・・自民政権が強かったのは、これまでは広報宣伝戦略に非常に長けた政権だったからで、国民に期待感を抱かせて、期待感を維持する能力が非常に高い政権であった。アベノミクスがその象徴であるが、その恩恵は国民にはあまり届いていない。国民の期待も長くは続かないので、そろそろ終息させる時期に来ていると思う。過去の政権で支持率30%を切って以降、再浮上した政権はほとんどないのである。安倍総理がそれを覆せるか。正念場である。』と話されました。

以上のように、政局の現状と今後について解説いただき、大変有意義な講演会となりました。

.....

第40回仙台シンポジウム

***会場**：仙台商工会議所会館7階 大会議室

10月例会 平成29年10月2日(月) 13:30~15:00

『2020年東京オリンピックに向けて』

講師：スポ-ツライター、スポ-ツジャーナリスト 生島 淳 氏

11月例会 平成29年11月8日(水) 13:30~15:00

『“ななつ星”に至るまでの開発と企画』

講師：九州旅客鉄道(株)クル-ズトレ-ン本部次長 仲 義雄 氏

第1回日本サービス大賞「内閣総理大臣賞」受賞企業

12月例会 平成29年12月11日(月) 13:30~15:00

『2018年世界の潮流を読む』

講師：一般財団法人日本総合研究所会長 寺島 実郎 氏

*会場は仙台商工会議所会館7階大会議室、時間帯は13時30から15時です。参加ご希望の方は、東北生産性本部 (TEL022-261-0411) までご連絡ください。